

SUMMER PHOTOS

夏の女★

カメラ・緒方しげを







BAR & GRILL



Kobe Steak



KOBE BEEFの美味さをたっぷり味わって下さい。
お店の雰囲気もゆっくり落つけるシャープな装いを
こらしました。

コウベステーキ

神戸市生田区加納町四丁目
神戸銀行三宮支店地階 TEL (39) 2581-2



□座談会□神戸・戦前―終戦―戦後を通して―

男性の女性化賛成論

ゲスト

野坂 昭如 （作家）

竹田 洋太郎 （神戸新聞論説委員）

麻生 ジョージ （田崎真珠KK宣伝課長）

★神戸ですこした少年時代

麻生 野坂さんは、いつ頃まで神戸におられたんですか？

野坂 戦災に会うまでいました。

住んでいたのは、灘の方なんです

小学校は、成徳小学校でした。

竹田 野坂さんの行動範囲はどのあたりだったのですか？

野坂 やはり新開地あたり、聚楽館とか、神戸駅前の八千代劇場でしたね。

竹田 六甲に住んでいる頃、神戸にいくということが、子供にとって非常に自慢で、近所の子供たちに「昨日、神戸に行ったんですよ」といばったりしてね（笑）

麻生 ぼくはね、布引だったんですが、中国のお寺がありますのでし

よ、関帝廟、あそこの葬式を一日中、立って見てました。ちょうど幼稚園の頃でした。

野坂 何年頃ですか？

麻生 さあ、戦時中ですからね、昭和何年ぐらいになりますか…。

野坂 ぼくは、昭和十二年に小学校です。紀元は二千六百年とかいってました。

竹田 じゃあ、ちょうど度六つづつ位ちがいますね。ぼくは昭和十二年に関学の中学部に入ったんです

野坂 今でもよく覚えているのは新開地の松竹座に「民族の祭典」というのがありました。長い長い列にらんで、それを見に行ったことがあります。昭和十八年だったかな、聚楽館に「かくて神風は吹く」という映画を見に行ったこ

とがある。その時、ある大学生と「ウィーン物語」という音楽物の映画を見にいったんですけど、無理に「俺はこっち行く、こっち行く」といって（笑）見にいってんですけど、あれは一種のトリック撮影ですね。雷がどうしてあんなにうまい具合に、パーッと落ちるのか不思議で不思議で、大学生に聞いたところ、剣もホロロに「あんなもん、俺かてやったるわ」というので、「こいつ、非国民みたいな奴や」（爆笑）と思ったことがあります。

★紙芝居と肉テンの思い出

野坂 僕ら、子供時代には、紙芝居がありましたね。「エイ、タァワン、ツウ」とオーバーな説明を



「三宮のヤミ市は昨日まで卵が30銭今日は50銭翌日は80銭と値があがって」と麻生ジョージ氏



「昭和ニケタというのは女性的というか行儀が良い」と竹田洋太郎氏



「絶対にアメリカコンプレックスからぬけられへん」と野坂昭如氏

するでしょ。

竹田 あれは、今の子供の漫画と同じ系列ですな。

麻生 大豆をいったようなものしかなくなっても、紙芝居屋さんはありませんでしたね。最後は、ニッキとかいって木の枯葉みたいなのを売ってましたね。

野坂 今でもおかしいと思うのですけど、たいていのサラリーマンが、あの頃、神社なんかによくとお好み焼というか肉テンというのか、みんな食べたくてしょうがなかった。だけど親が許さなかったあれは実にうまさうだった。ソースの焼けるにおいだとか、新聞に包んであったとか、それをえらい育ちのいい奴が言うのなら話は分るけど、そうでもないのが、近頃になって、エエかつこしよるわけですよ(笑) おもしろいと思うね。

麻生 どうして肉テンやお好み焼だけが、あれだけ鮮やかに印象に残ってるんでしょうね。

野坂 あれは、みんながいますね、いわば月並みみたいになってます。子供時代を懐古する時に必ず思い出しますね。

竹田 食べたかったけれど、お母さんが、いけませんといった(笑)野坂 ところがよく聞いてみるとみんな食っとるんですね。赤く着色したエビとかね。必らず食うておるにもかかわらず、人という時

には、イヤ、あれは食べたかったけど……と（大笑）いうんですよ。

★中里介山の膝に抱かれて

観艦式を見る

麻生 神戸で観艦式がありましたネ。

竹田 ぼくが覚えてるのは、昭和五年と九年です。六甲の山の辺にゴザを敷いて、双眼鏡で見たのを覚えてます。

野坂 今度の神戸を舞台に書く小説の冒頭は、そこから始まるんです。ぼくの家のは、中里介山氏の家だったんです。介山さんの膝のつかって、何か大阪湾にドカッと動かないでいる軍艦を見ながら、十月に柿を食っていたのですけど、ぼくがあまり柿を食うので、お腹をこわすと、叱られたことがあります。介山さんの部屋は、暗いところで、まわりに本がいっぱいあって、その真ん中に浴衣をきた介山さんが座って、何かしゃべったんですけど、今では覚えてません。

竹田 観艦式は、明治二十三年、神戸沖でやったのが最初らしいですね。観艦式というのは、外国のマネをしたというだけでなく、一種の宮中の儀式、民族的なもの結びついたものですね。昭和五年というのは、大さわぎをやったんですね。即位のバレードのあと観艦式で、僕はちよう度六つか七

つの時でした。

野坂 戦艦とか航空母艦とか、ダァーッといってすごかったですね

★ほくら、大軍国少年ノ

野坂 それから小学校五年の時に大東亜戦争が始まったでしょ。ぼくはね、その頃は、大軍国少年ですよ。何とかして、軍隊の学校に行こうと思ったんです。ぼくは眼が悪かった。0.3でしたけど、やがて中学に入って、近眼度が、0.2に強くなった。これはもうアカン。軍隊に入られへん。それでいろいろ考えた結果、俺は、救世軍に入ろうと思った。救世軍は軍隊かと思つた（笑）

竹田 そりゃ、子供はみんな、僕らでも軍国少年でしたよ。自分の身内のものが兵隊にいく。僕らが兵隊にいくとしたら、どんな型でいったらええのやろか、軍の学校をうけようかというようなことを一生懸命考えましたよ。

麻生 その点、ぼくなんか特殊なんですけど、おやじがイギリス人でしょ。だけど、教育は日本で完全に受けてるんですよ。それでみんなと同じように、兵隊に行くんやと（笑）、ところがまわりが、そういう感情を許さないんですよ。

竹田 ああ、なるほどね。

麻生 で、やはり疎開に岡山に行つて、疎開先で家が焼けたというのを聞いた時に、そしたら、空

気がかわるわけですね。「アイツとこの家の屋根に、フトンを干して合図した」とかね（笑）

竹田 海軍の兵隊さんにあこがれてね、ぼくも近視やし、中学に行ったら兵隊とは縁のないものとか、きらめていたら、いつの間にか、海軍の兵隊にちゃんとなつていたから、おかしいですね。

★二十才以上は生きられへん

野坂 ほくら、ほんまに、二十才以上は生きていられるとは思わなかった。一方は兵隊、もう一方は結核ですよ。

竹田 ああ、そうですね。ぼくも学生時代、軽い結核にかかって、教練や勤労奉仕にいかなくてもいいといわれれば、これが逆に悩みでね、このまま死んでしまふんじゃないかという気持ちで、厭世感というか、ごつたいコンプレックスをもちましたね。

野坂 子供の時に、町内に一人ぐらいは必ず肺病ヤミという奴がおるんですよ。いつもネマキの上にカスリの着物かなんか着て、水薬をもつてね（笑）それでやせて細い人は結核になりやすいとか、よくおどかさねよつたですよ（笑）だいたい、こっちは神経質やから相撲とつたりして、無理な筋肉の動かし方をすると胸が痛くなることがありますよ。そしたらね、アついに俺は肺病になった（笑）イ

ヤ、マー悲しいとワンワン泣いたことがありますよ(大笑)それ位肺病の恐怖というのはあったんです。一方では、戦争に行つて殺されるということがあった。というより、お国のために死ななアカンという気持がありましたね。

★戦災で浮浪児になる

麻生 野坂さんは、戦災には会われたんですか？

野坂 ええ、空襲は、ものすごくうけてるんです。三月十七日の時は高見の見物だったんですが、六月五日の一番ひどい時にやられた。その後は、一種の浮浪児みたいになってしまつてね。

麻生 そういう日付をはっきり覚えておられますね。

野坂 それは、戦災は特別の体験ですから、どうしても覚えていましてね。神戸っていうと僕の場合、子供の時代の戦前は、戦争で焼けてすぐ神戸をはなれていましてから神戸における記憶の純粋性というのがカチツと残ってますね。

竹田 ぼくは、兵隊から帰つて、昭和二十年九月頃、何もすることがないので、映画を見に新開地のキネマ倶楽部にいった。その帰り停電で、新開地から、テクテク六甲まで歩きましたが、その間、家らしい家があったのは元町六丁目だけでした。野坂さんは、空襲を

うけてから、その後は？

野坂 六月五日にやられて、もうどうにもならないですよ。家の人は全部死んでしまったわけですから、僕一人で、西宮の遠い親せきに行つたのですが、子供一人であずかるのも、先方も困りますよ。食べざかりの子供が入ってくるわけですから。長くいたら、どうしても不満がでてくる。それで今度は小学校の友達が福井にいたので七月三十日に汽車に乗つて、全然知らないところに行ったですよ。

家族が死んだと手紙を出したもんだから、君こそは戦争の貴い犠牲者であるというけれど、ぼくが行つたら、びっくりしてしまふわけですよ。そうこうしているうちに八月十五日に戦争が終つて、それで仕方なく、大阪に帰ってきたわけです。また大阪の親せきを頼つて、北河内のヘンな工場街に住んで、そこで働きながらしばらくおつたんです。それでついに食うていけんようになって東京に行ったんです。

★チューインガム三日分を配給

野坂 終戦のころになると、僕らみたいに、もの書きになつてしまふと、今こうやって生きながらえてくると、あんなに幸せだったことないと思うね。あの頃のことを書くので、一番困まるのは、やつぱ

り子供だったので、はつきり分らないことです。ごく最近にもね、戦争に関連した小説を書きました

が、うっかり昭和十六年に衣料キツプがあったみたいなことを書いてしまったんです。あれは昭和十七年二月からですね。あんなことでもコロツと思ひがちにしてしまふんです。ヤミ市の値段のうつりかわりとか、日用雑貨の値段なんというの、さっぱり分らんです

麻生 ぼくね。ヤミ市をよくうろついた経験あるんですよ。とにかく昨日まで卵が三十銭やったのに今日は五十銭になつて。翌日は八十銭、一円になつて

竹田 実はね、もう何も無いという時期がありましたね。

麻生 芋のつるも食べましたね。

野坂 芋のつるや葉っぱは、まだ上等の方で、一番困まるのは、カボチャのクキで、あれはチカチカして食べにくい(笑)食べていて悲しくなりましたよ。

麻生 新聞に食べられる草というのが、毎日でてましたね。

野坂 ぼくは戦災孤児みたいになつてしまつたでしょ。アメリカから離れられないですよ。中之島でもって、GIとパンパンの仲介をやるとか、北河内におつたので、配給の程度がものすごく悪い。例えば、ぼくなんか涙ぐんだこともあるんですけど、チューインガム



Lady's Shop

La Mode

MOTOMACHI KOBE TEL 335689



Akira Beauty Shop



美容室

あきら

西野 明

電話予約制

三宮本通り TEL 334461・6458

さわやかなサマータッチ!



エキゾチックな町 神戸の生んだ
チョコレート＊キャンデー

ゴンチャロフ

KOBE・TOKYO NAGOYA・FUKUOKA
さんちかスイーツタウン TEL 神戸 (078) 39-3563

一番幸せなあなたの日……
その日を優雅に気品高く彩る
つるやのご婚礼衣裳



秋の新作
ご婚礼衣裳
展示会ご案内

●とき
8月20日 10時→6時
●ところ
神戸オリエンタルホテル
2階大ホール

つや貸衣裳店

本店 神戸市生田区三宮町3丁目18
TEL <33> 0360・7786

をお米の配給の代りにもらった時です。チューインガムというのはかむだけで、腹はふくれないうすよ。チューインガム三分というのには、おどろいたね。アゴが痛うなつて（笑）それでもしょうがないからチューインガムをかんだことがありますがどね（大笑）この時に、アメリカに対するコンプレックスがだいぶ固まった。一方では両親を殺されたという気もあったし、一方では、アメ公の金をもらっているということもあつたしね。

★抜けたせない

アメリカ・コンプレックス

野坂 終戦と同時に、上陸したアメ公が、どんどんやってきた。みんな背が高くてヒロヒロしておつて、これまではアメリカ人そのものはこわくなかったですよ。ところが、ジープから下りてくるのをふと見ると、イヤ、マア、でつかいのつて、身体が大きいでしょ、これはとてもじゃないけど、勝てないわと思ったね。（笑）

竹田 ぼくも、ふらふらと、浴衣を着て阪神国道に見にいきました。

野坂 その時に、ぼくは本当にショックをうけた。こんな強そうな奴と何でけんかしたんだろ（笑）そりゃ、B29というような戦力を客観的に見ることはできないですよ。こっちはまだ子供だから。た

だ相手の肉体が大きかったら、威圧感にやられてしまいますよ。これは負けるのはあたり前や、その時の敗北感たるや、すさまじかったね（笑）それから、アメリカ・コンプレックスというのは、ものすごく強いですよ。僕らより年下の人間は、アメリカ人と話をするのにキョロッとしてるでしょ。人間対人間で話をする。ぼくは、アメリカ人がくるとガタガタしちやつて（笑）何かどうもすみません（笑）というような、常にしめつけられるような感じがあつてね。浮浪児になつてた時、アメリカ人の宿舎に行つて、かっぱらいをやつたり、サギをしたり、行商をしたり、ぼくはやっぱりアメリカに恩恵をうけてるという気が片一方でものすごくする。はじめて見た時のあのデッカイ図体と強烈なショックとがね、重なり合っている。ぼくは絶対に、アメリカ・コンプレックスから抜けられないですよ。外国へ行くとかいう話もありますけどね、ぼくは絶対に行かんよ（笑）ノイローゼになつてしまふよどっちを見ても俺よりでかいのばかりで（爆笑）

★もう一べん戦争に負けたら……

野坂 日本というのは負けつけてない。もう一べん負けたらうまいことやるやろうと思うんですけど。

麻生 ぼくも同じことを考えたことがあるんですよ。ヨーロッパみたいは何回も国土が荒されていたら、もつと自分の国や土地、人間だとかいうものに愛情の気持が湧いてくるだろうと思うんですよ。

野坂 だいたい戦争で負けてさし出すのは、いいところはのけておいて、こつから先でいいんですよ。男と男のけんかでもそうですよ。負ける勝つは時の運やしね。まけたからといって、全部をさしだして、俺の全人生を否定して、俺は新しく生きると思う奴は、アホかきちがいではなんまに変わるとる。

竹田 ドイツでは、いくら貴金属やダイヤモンドを供出せよといつても、いくら愛国心のある奴でも供出せんそうですよ。これは自分の生活のためのものであると。

野坂 もつと根本的なところで、国や民族を愛するのはかまへんけれども、その点をはっきりしておればいいですけどね。今、日本で戦争がおこつたら、日本みたいに弱い国はないなと思いますよ。

竹田 そうでしょうな。早いとこ任期をすまして、権利を要求した方がましだというわけで（笑）

野坂 なしろ、日本という国はそれまでが温室育ちやからね。

★伝統は女性にうけつがれる

野坂 それとね、ある国の中で

戦争を境にして、こんなに子供の遊びがコロッと変ってしまったのは、ちょっと珍しいですよ。例えば折紙だとか、あや取りなんか、これは、おそらく世界でも日本だけじゃないですか？ お手玉もね。

麻生 七夕祭にしても、どうして伝統がたち消えちゃったのか？

野坂 家庭の中における文化生活というものは、ある程度しやうがないと思うけれど、子供の遊びは、チャンと母親が教えるべきですよ。竹田 伝統は、女性にうけつがれるべきもんですよ。料理の味にしても、お姑さんがお嫁さんに教えていくものですよ。教える方も教えないかったのか……

野坂 イヤ、教える方は教えたんですよ。教わる方の生徒の態度が悪かった。つまり、あらゆる価値の基準が狂ってしまった。下からいわれると、ああ、そうかなというわけで、ガンコな親とかガンコな老人がおらんようになった。やたらと理解のあるようなのばかりになった。嫁さんの天敵は、お姑さんなんです。天敵がおらんようになつたら、嫁さんが、アメリカシロヒトリのように、ものすごくふえてしまつて（笑）こっちの嫁さんの方でも、どないしていいか困っているわけですよ（笑）

★現代の青年たちは幸せだ、

麻生 青年期を戦争中に過ぎたわけですけど、今の若い人たちを見て幸せやと思いますか。

野坂 幸せというものを、あくまでも個人の自覚とすれば、幸せだと思うよ。腹がへるとかいうのも今から思い出せば、ある程度感傷的に美しい場合もあるけれど、実際、腹がへるとかシラミにたかれると（笑）いうことは、あんまりいいことじゃないですよ。上から見てると、彼らが腑抜けみたいに見えるけれど、また人生の意義をどこに見出しているのかという気がしないでもないけれど、少なくとも彼らは、腹いっぱい食ってるんですね。それは腹いっぱい食えば、次は車がほしいと刺激の多い中におかれていながら、フラストレーションの状態は同じかも分らんけれども、根本的にいって、フラストレーションの質がちがう。そういう意味でいえば、幸せだとも思いますよ。何だかんだといつても、戦争がないし、妙な国家意識をもたない時代というのは、男として腑抜けになるかも分らんし、あるいは女性化かもしれない。かといって、彼らが国家意識をもつた時には、必らず不幸になるのは彼ら自身にちがいないのだからあんまり、今の若いもんはといういい方をしないようにしてるんです。麻生 そのありがたさが、今の若

い人たちに分ってるんかどうかということですね。

★男性の女性化、多いに賛成

野坂 女性がねエ、「近頃の男性は女性化して……」とかいうのはおこがましいもいいたことですよ。男性的にふるまうということは、敵と闘うことなんで、それを支えるのは、やっぱり国家が戦争することでしょう。戦争したら、みんな兵隊にとられてしまうんで、泣きの涙をするのは、女性の方なんです。口がさけてもそんなことは言わん方がいいですよ（笑）男性の女性化を諸手をあげて賛成しておった方がいい（笑）女性化、女性化いいですけどね、何も男性が男性的になるからといって、世の中はうまくいくわけじゃないし、そりや、しょうがないですよ。植民地的なアメリカのヒモがついている場合には、青年はそういうところに発散するよりほかにないですよ。といつて、青年よ、背骨を取戻せノとやりはじめたら、たいがい、ええ方にはいかんよ。それやつたら、今のままでアホなことやつとる方がええ（笑）

竹田 そりや、そうですな。中年の男が率先して、ゴーゴー踊つとるんやもん（笑）

★昭和ニケタ生まれは

ロストゼネレーション？

野坂 おもしろいのは、世代論でいくと、僕らの昭和四、五年生まれというのは、陥没エイジ(時代)なんです。男女共学はあとからおっかかれる、学生はメチャクチャに変革しているわけで、何をとり出しても陥没エイジなんです。もの書きにしても、僕らのあとには、石原慎太郎、大江健三郎というのがいる。僕のところには、まあ、せいぜい開高健、笹沢佐保ぐらいで、あんまりおらへん。僕は陥没エイジだとばかり思っていた。ところが、もの書にきついても、昭和十年から二十年まではなおさらおらへんですな。大江、開高がでてきたのが、二十四、五才ですよ。そしたらね、結局、昭和十年から二十年に生まれた奴がバリバリ出とらにやいけない。音楽家にしても、黛敏郎、芥川也寸志、そのあと放送作家でいずみたく、中村八大、林光とかいっぱいいるでしょ。あの連中にしても出たのはみな二十四、五才ですよ。映画監督にしても、大島渚、浦山桐郎とか、みな一ケタ生まれですよ。本当ならば、昭和二ケタ代がもはやおらなアカンですよ。

竹田 当然そうですね。

野坂 このロストゼネレーションというのはとっても大きいですよ。麻生 僕は、ちょうどその真ん中におるんですけど、中学校の時は

新制中学の三回生だったですね。だから、教える方にしても、まだ手さぐりだったと思うんですよ。野坂 昭和二十年生まれの人が、もう二十二才でしょ。そしたらね昭和十八、九年に生まれた人たちが「ヤーヤー我こそは」と名のりをあげてきて当然ですよ。

★原宿族も模範的サラリーマンに

竹田 今のエレキバンドのリーダーなんか、そうじゃないですか。今や、字を書いたり、理屈をいうたりするのが阿保らしい。

野坂 つまり音楽とかスポーツには、ずっと断層なく出てますよ。それよりもう少し頭腦的になってフリーな立場で、その人物のキャラクターが問題になってくる分野になると、昭和十年以後、ビタッ

とこない。そうするとね、僕ら実に有利なんです。後から誰もおっかけてこない。いつまでたっても若手ですよ(笑)永六輔、青島幸雄とか軽薄グループといわれる連中がおったでしょ。僕も含めてみんな昭和七年までですよ。

麻生 それはね、ある時点で世の中が急に目まぐるしくなった。

竹田 その目まぐるしさに目を丸くしなかったという強さがあるんだと思いますね。

麻生 誰が何といったって、自分のやっていることが一頁であって

今、自分が書いて出せば、それしかないんだという恵まれた世代じゃないんですか。ものを考えるということにおいては青年に達していた。

野坂 そやけど、僕らの前にも、いっぱいおったですよ。それにしても、我々のあとを埋める奴が出ていいはずだし、せめて一人や二人は昭和二ケタ代のチャンピオンが何かの分野で名をあげてほしい。

麻生 今に出てきますよ。

竹田 昭和二ケタというのは、女性的というか、行儀がいい、適応性がありすぎて、どこかに適応しちまってるんじゃないですか。

野坂 今は、せいぜい六本木とか原宿あたりの主役が、二十年以後ですね。原宿族にしても、暇とお金のある遊びずきの青年というだけで、遊ぶだけ遊んでサラリーマンになると、非常に模範的なサラリーマンになる。その中で何かが生まれるとは、ちょっと期待できないですね。

★六甲山で女をくどく

麻生 神戸の女性はいかがですか野坂 まだつき合う機会がないので、よく分らないですよ。今晚あたり紹介してもらおうと思つて(笑)神戸にきて、誰も知った人はおらへんでしょ。パーやキャバレーでつき合う女の子が、これ

が神戸の女性とはいえへんし、せいぜい宝塚の女の子ぐらいですね。六甲山で女をくどくというの

は、舞子ヴィラでもよくやっていたけれど(笑)やっぱり、いつもながめていた六甲山で、女の子をくどくというの、一種の義務感としてあるんですよ。東京からもよくつれてきますよ。

竹田 東京の女性にとって、六甲山は、いかがですか？

野坂 六甲山は夏になると、ものすごく霧が深い。君と二人で、おびえたように霧の中に立ちすくもうではないか(笑)といったりね。麻生 今頃ですと、あじさいの花がきれいですよ。

野坂 あじさいの花は知らなかったけれど、今度は、それを使ってみよう(笑) 六甲山という山は、特別な印象があるわけですよ。港町のすぐ裏側にそびえている山でこんな低い山で、これだけ有名な山はないんじゃないかな。

★神戸っ子はおっちょこちよいいか

麻生 やはり、神戸っ子の特性いうたら、おっちょこちよいという要素ですか。

竹田 それはありますね、他にいろいろありますけど、おっちょこちよいが中心ですね。

野坂 投機性というのか、つまり一発やっつろかというのはありませんか？

竹田 それが、どうもあまりありませんね。

神戸を出ていく人や、現在の神戸をつくった人の中には、神戸に来て、その場所として神戸を選んだというのがありますけど。

野坂 終戦後、元町のゼラルミン街を見て、昔の元町のイメージがあるものだから、何とチャカチャカした、おっちょこちよいの街をつくったものかと思いましたが、今はよく落ちついて、いい町になりましたね。万国旗がよく似合っていて、古本屋と洋服屋のたくさんある町という、ものすごくあこがれますね。特に東京の女性なんかは。

★心に住んでいる美しい神戸

野坂 神戸というところは、両親がいて家族があった。そういった平穩無事の、世の荒波にあたらないで住んでいた最後が神戸だったでしょ。終戦以後というのは全然

変っているわけです。革命があったようなもので、その前の記憶はともとはつきり残ってますね。だからエルサレムに帰るユダヤ、みたいなもので、神戸に帰りたい、帰りたいとずっと思ってきましたね。

その後で、浮浪児をやったり、少年院に入ったりして、頭の中にあるのは、新在家の海や砂浜、潮の

香ばかりで、三十年たつて帰ってきて、すぐ海に行ったんですよ。もう全然ないですね、カッカッキましてね、一王山にいつてみたんですよ。昔住んでいたあたりをウロついてみましたが、どこがそうなのかわからなかったです。

麻生 日常、何かで、はっと神戸を感じることがありますか？

野坂 つまり東京の猥雑さに触れる時に、神戸の港町、静かなたたずまいだった町並を思い出すことがあります。神戸にいても、結局昔の神戸を思い出すのと同じようなことだと思えますけどね。こっちに海があつて、山があつてという風に、まるで箱庭みたいに、ぼくの心の中に住んでいるわけです。東京にいて、イヤな野郎に会うとなんで東京の野郎って、イヤな野郎ばかりなんだろうと怒ったりして、その時にパッパッと出てくるのは神戸弁ですね。

麻生 こうして今、現実には神戸の町を歩いてみて、裏切られるようなことはありませんか？

野坂 結局、イメージが結晶してしまってるものだから、そういうところしか見えないのね。山にしてみくずされているところは見えないで、昔のままのところだけ見えている(笑) \(\backslash S 42 \cdot 6 \cdot 30\) オリテ エンタルホルにて \(\backslash

お中元に

ゴーフル

お菓子づくり七〇年
丹精こめてつくりあげた
味覚の逸品!

お子さまからお年寄まで
ご家族みんなによろこばれる
風月堂のゴーフル

まごころこもった
お中元 ご贈答に
地方発送にも好適です



ゴーフル
¥400～¥2,200
プチゴーフル
¥300～¥2,000

神戸にそだって 70年

 **風月堂**

元町3丁目 TEL 332412～5
さんちカスイーツタウン TEL 333455

'67 Sun Glasses

今年流行の
メキシカンルックがいっぱい



*度付サングラスがすぐ出来ます

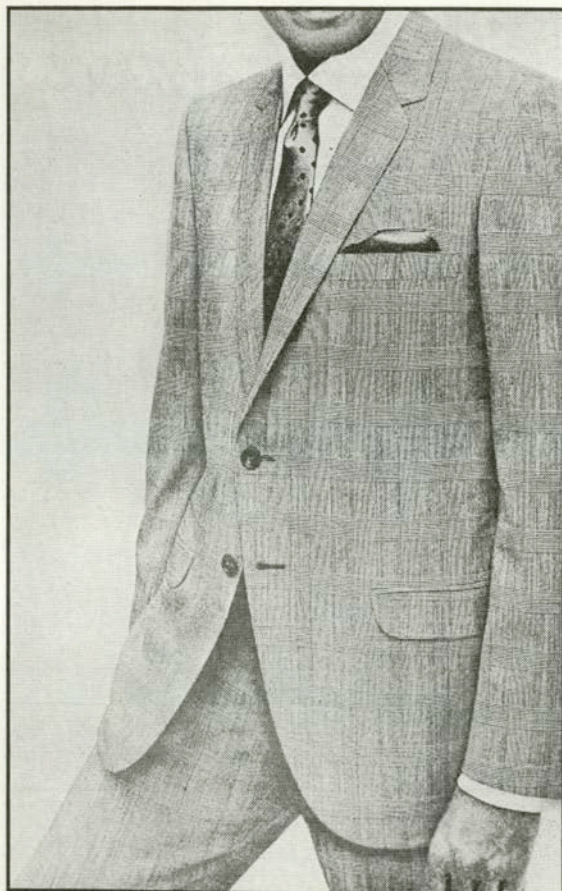
*夢のレンズが出来ました!

境界線のない一枚のレンズで
遠い所も近い所もはっきり見えます

豊富な種類を集めて
サングラス部開設!

服部メガネ店

大丸前 TEL (33) 1123



O-SHIBATA

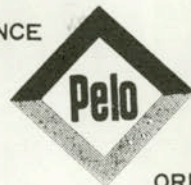


柴田音吉洋服店

神戸・元町通4丁目 神戸 34-0693
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106



1870 SINCE



BERLIN
ORIGINAL PELO

日本販売元

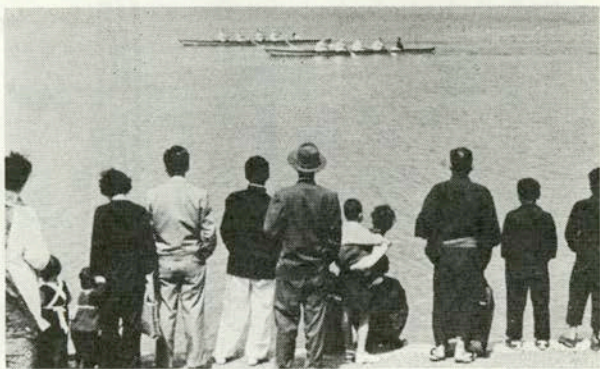
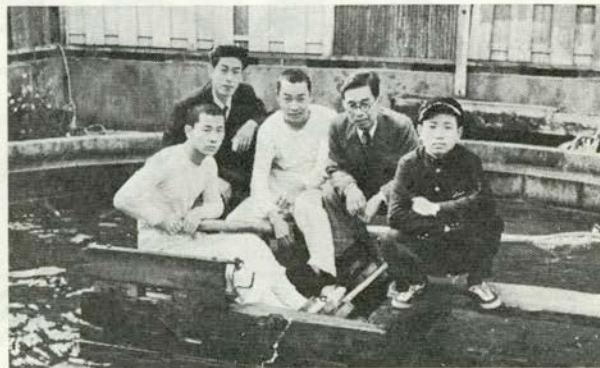
元町バザー

神戸・元町1丁目 TEL (33) 1401・7031
東京・日本橋 白木屋 TEL (211) 0511代

神戸遊戯誌 47

★御師、神商、洲中、国鉄鷹取ら活躍

日本でボートを漕いだのは、なんといっても海軍と在留外人がはじめてだったが、慶応二年（一八六六）にはすでに横浜でイギリス人がボート（四人、六人乗りの滑走艇）を漕いでいたといわれている。明治十二年になって神戸と横浜、長崎の各在留外人チームによる持ち回り対抗レースが行なわれたが、神戸でのレースは小野浜（みるめ海岸）だった。日本の海軍がボートを漕ぎはじめたのは、明治以前洋風の軍艦が輸入されたと同じころだった。これをキッカケに運動（スポーツ）として学生が始めたのは、東京大学の幹事服部一三氏（後年、兵庫県知



上は須磨の資産家西光嘉左衛門氏が自宅の池に設けたボート固定練習具
下は昭和10年前後、見物客でにぎわった須磨沖のレース

事）が明治六、七年ごろアメリカ捕鯨船の不用のボート七、八隻を買い込んでからで、当時の学生たちはこの船を盛んに漕ぎ回り、春などは隅田川は花見船でにぎわったものであるが、彼らは芸者などを乗せて飲めや歌えとさわいでいる屋形船に漕ぎ寄って、障子に水をかけて酒のご馳走になるというような無邪気ないたずらをした。関西方面では、明治二年に大阪に舎密局が開講され、これが旧三高の起源となっており、明治十年の大阪時代、すでに黒派という学生有志のボート・クラブがあり、大阪の海や川を漕ぎ、のち京都に移校してからは白、赤組に分かれて覇を争い、これが青党に合併し、後年千鳥クラブとなったのは明治二十年以降で、京都疏水、琵琶湖

ボート ①
青木重雄

へとコースを開拓して行った。つづいて、京都の同志社が、明治十年ごろすでにボート部を作り、四十五年大学認可と共に分科レースを始めたが、大正二年には大阪工高と戦い、さらに明大と対抗レースを催した。わが神戸市のトップ校は神戸高商で明治三十六年にボート部ができ、三十八年から選手競漕を行った。三十九年にはみずからの主催で大阪高工はじめ大阪高商、神戸レガッタクラブと戦った。このほか、御影師範も明治末期にはボート部ができていて琵琶湖で滋賀師範と定期レースを行なっていたものだ。当時のボートの値段については、東大理学部だけの舟行組というクラブのメンバーだった田中館博士の回顧談によると、「二隻のボートが、古くて使えなくなったので売って一杯やろうということになり、わずか五十円で売り払い、その金で一同は向島の八百松で飲んだ」とあるが、売値の五十円は今の十万円になるので、一流の料亭でドンチャンさわぎをしても釣りが来るから恐らくハメをはずして飲んだことであろう。

明治十七、八年ごろ東大の学生でボート部にいた夏目漱石の「満韓ところどころ」の一節に、やたらに牛肉を食って、ボートばかり漕いでいるうちにボート部の連中はみんな落第した——と書いている。その落第組の漱石がのちに文豪となり、橋本左五郎が農学博士となり、中村是公が後年の満鉄総裁で東京市長になっているのだから面白い。

日本漕艇界の統轄団体である日本漕艇協会は、大正九年六月一日創設されたが、さっそく第一回の競漕大会として学生選手権競漕会を十月二十三、四日両日隅田川でエイト・オアス・シエルによる二マイルレースで行ったが、東大が決勝で八艇身の大差で東京高商を破って優勝した。つづいて十三年五月十、十一日の両日第一回全日本選手権競漕大会が東京の白髪橋、吾妻橋間一マイルのコースにおいて行われたが、舵手付フオア・オアス・シエルの部には関東の十余団体にまじって関西から同志社大学が参加した。このころ神戸では御影師範や神戸高

商などが須磨西の塩浜沖でしきりに練習をしていたものだった。また、須磨沖や苅藻島附近、塩屋沖などでは学校のほかに土地の青年団や漁業組合の若人たちによるチームが入りまじってレースを行ったこともしばしばだった。これらは、固定席フィックス・シックスが多かった。当時大成金で後年大臣になった内田信也氏が須磨に別荘を構えていて、地元の漁業組合のボートチームにボートを寄附してくれたりしていた。彼自身も一ツ橋大学のボート部出身だったので長じてはボートへの情熱は失われなかったわけだ。実業団チームの方も大正から昭和へかけて、しだいにふえてきていたが、昭和十年ごろになると、神戸商大ボート部の主催で兵庫県下実業団ボートレースが催されてにわかに隆盛となってきた。おもな参加の強チームには神戸製鋼はじめ川崎汽船、国鉄鷹取工機部、日本郵船神戸支店、三菱造船などの各チームが顔をそろえていた。なかでも国鉄鷹取の強力ぶりが光っていた。そのころ須磨の資産家の西光嘉左衛門氏が自分の私邸にボートハウスなどを作って鷹取工機部に貸してくれたことが同チームの活躍に大いに役立ったものだった。また、大学のほかに早くから関西では琵琶湖で全国高校琵琶湖長距離ボートレースや全国中等学校競漕大会が毎年催されていた。そして中等学校の方では、御影師範と洲本中学などがよい成績をあげていた。

要するに戦前は兵庫県下では、専門学校以上では神戸高商が時期も早く実力も群を抜いていたわけで、学生スポーツ界の常勝軍関学もボートだけはさっぱりめだたなかった。中学では前述のように御影師範と洲本中学が強味をみせ、実業団では鷹取や神鋼が出色だったが、学校、実業団とも近畿ではかなりの実力を示したものの、全国的にはいま一つで、その点東京と関東勢が圧倒的な強剛振りをつづけていた。

神戸うまいもん巡礼

No.59

赤尾 兜子

三宮の巻

この巡礼も回をかさねることこれで五十九回、足掛け六年に近く、ややその新しい美味どころをさがすのに骨が折れるようになったが、続けられるところまでつづけようと思う。

「コウベステーキ」(阪急三宮駅東出口、駐車場北、神戸銀行三宮支店ビルの地下)が、最近店を模様替えした。神戸ビーフの本場のこの街で、戦後街がまだ落着きをとりもどしていないころ、すでにこの店のステーキは、著名であった。当時としては、ビーフの材もいかにわりに、値も張り、しかも地下とはいえ、一種の洗練された上品なムードにつつまれて、客席がゆったりして、えらばれた客筋しか入らないことが、その存在を羨望されるものにしていったのだ。しかし、時は流れて、同種の店もいくらか生まれ、経営者側の社長がかわって、店内を改装、司厨メンバーも変え、経営の方針をいぜんより、より庶民的にしている。つまり常連客ばかりでなく、飛びこみ客をも歓迎しているということなのである。店内は、前よりだいぶ明るくなり、壁を飾る津高和一



津高和一氏の絵がかかったムーディな
コウベステーキの店内

画伯ひとりの作品十数点も、新作ばかり。司厨長は、満鉄本部の食堂につとめ、戦後引揚げてスエヒロ大阪店で十年、定年を機会にこの店へ来た福井さんだ。だからステーキにくわしいことはいうまでもない。

売上げの九割をテキが占めるというから、まさにステーキの専門店である。テンダロインのヘレ一本にしぼっている。そのヘレ、一頭の牛の両背から二本しかとれない。それだけに、いいヘレを入手するのに、ずいぶん苦心し、納得できないものは返品している。スーブ、ステーキ、サラダ、コーヒのA定食コースで一〇〇〇円。むしろ、これより上のB・C定食もあるが、A定食で、十分楽しい。それほど歴史がある店でないのに、妙なもの



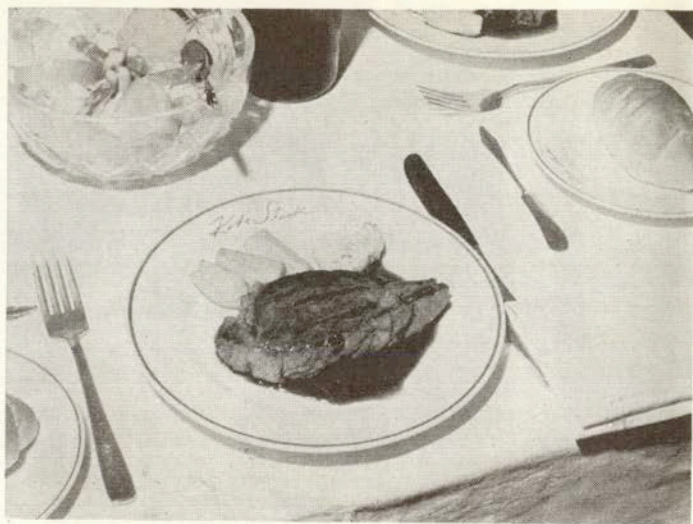
さんちかタウンの「北浜」はひる時から夕方はずっし

で、このステーキは、いかにも神戸らしい定型のまめと味がある。外人客やアベックもしごく多い。

夜は、食卓にロースクを灯し、それで食事するので、いっそうふんい気がたよう。ついでにレストランでキャンドルを使ったのは神戸でここがはじめてである。

「北浜」(さんちか味ののれん街)はうなぎの庶民的な店としてにぎわっている。東京のターミナルにいくつもの地下街店をもち、関西料理とすしを看板にする同店が、関西でただひとつの店として神戸に進出したのだが、社長はもともと大阪の出身。店名の「北浜」も、大阪・北浜から出ているらしい。

うなぎを主軸に天ぷら、和食の三本立経営をしているが、うなぎは、蒸して焼く江戸前仕立て。三人の職人、いずれも東京店から来ている。小鉢物、吸物をつけた上蒲焼定食(五〇〇円) 蒲焼定食(三五〇円) うな重(二五〇円) うな井上(三〇〇円) うな井(二〇〇円) といった値で、やや濃い目のタレで、ベッコウ色に焼きあげ

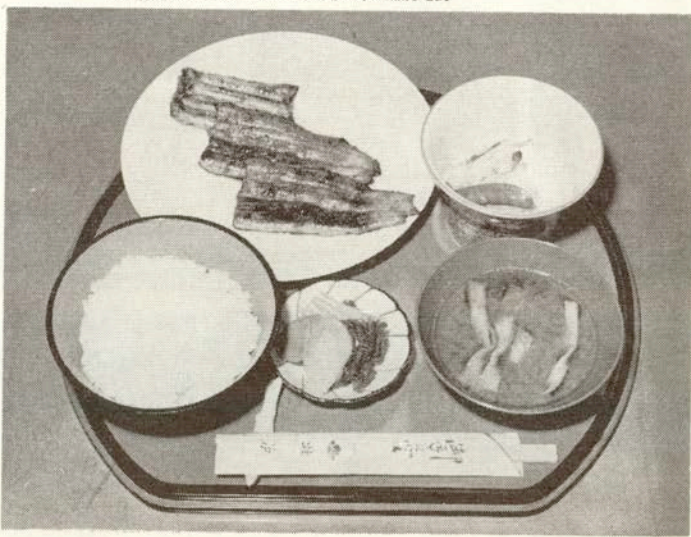


上は「コウベステーキ」ご自慢のA定食 KOBE BEEFのステーキ
下は「北浜」のサラリーマンに人気のある蒲焼定食

ている。昼は、サラリーマンやBGで混雑する。職人がなかなか意欲的で、最近、うなぎちらし(吸物つきで三〇〇円)を試作、近く本格的な一品として出すということだが、これは、ちらしずしのなかにうなぎの蒲焼の一片をおいたもので、うなぎのあぶらっこさとご飯の酢かげんがうまい融和となって舌の上で生き、なかなかよい。

天ぷらは、上定食(五〇〇円) 並定食(三五〇円) 天井(三〇〇円) というところ。ほかに、和食の一品として、かつおたたき、鮎の塩焼、さざえ電焼、玉子豆腐、たこ酢などいろんな一品もあり、夜は、これらを賞味する左党客もまじる。

いささか、メニューが雑然としている感がないでもないが、逆にいうと、それだけ万人向であるということであり、手軽に、そしてさくに入れる店である。値も総じて安値である。



淑女入門 8

How to be a Lady

バランス淑女

文——鴨居 羊子
え——石阪 春生

私のお友達の一に、それはそれはすばらしい女性がいます。

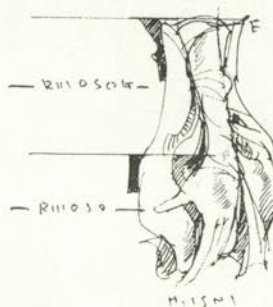
彼女は、まるで天女が「嗚呼、なんと古い形容詞がとびだしてきたことか——この地球に舞いおりて、そのまま住みついてしまったのではないかしらと思うほど、人間ばなれのした美しさなのです。

彼女の歩いてこちらへやってくる姿など、まるで、風のように、そうです、ころろよい春風か秋風のように、重量を感じていない趣きで、ひょうとばかり私たちのそばにやってくるのです。

彼女のその見事な歩きぶりは、それはたぐいまれなバランス・ウォーキングなのです。バランス・ウォーキングなんてことばはないかもしれませんが、彼女のその見事なバランスのとれた歩行を、私は常々こう形容しているのです。

たとえば、力感にあふれた歩行をする人、人種ではアメリカ人などに多いですね。スポーツでは、アメリカン・フットボールの選手とかラグビーの選手なんかはこの感じがするものです。バランス・ウォーキングのよいパターンをみせてくれる人は、そう見当らないものです。

日本には、立てばシャクヤク、坐ればボタン、歩く姿はユリの花なんて表現がありますが、これなど美人の条件に歩行の姿を数えているようですが、ユリの花なんて表現は果してどんなことをいっているのか、私にはちよつとのみこめません。まさか、バランス・ウォーキング



のことをいっているのではないと思いますが……。

さて、彼女は私たちのそばによってまいりまして、実に実に軽いアイサツをいたします。それは、軽妙な言葉のアイサツのときもあつたり、軽妙な物腰をするアイサツであつたりします。

大事なことは、彼女はほんのわずかな自分からする軽いアイサツのあととは十分に時間をとって相手の言葉や物腰による返答を待っていることです。この間のとり方こそ、私が先に申しましたバランス・ウォーキングのつづきであるところの、バランス・タイムとでもいうのでしょうか。こんな妙な言葉をひねりださなくとも、「間」という立派な日本語があります。

さて、彼女の軽妙な言葉のアイサツを紹介してみましよう。

「いい風だこと」

とか

「まるで夏だわね」

とか

「あたし元気よ」

とかいった風なのです。彼女は間違つても「いい天気ね」とか「ああきょうは暑いわ」とか「ああ寒む」とかいわないのです。どこが違ふのでしょうか。彼女はまず通俗的なアイサツをしないことです。その次には、あまり直接的な指摘をしていないのです。

たとえば、「ああ、きょうは暑いわ」というかわりに「まるで夏だわね」と表現するのです。

「あなたお元氣？」

と聞いかけるかわりに

「あたし、元氣よ」

というのです。なんという、甘い表現でしょう。そして、かなり風の強い日でも彼女は、「いやな風ね」などとはやらかさないのです。しずかに

「いい風なこと」なのです。

そうです。彼女は、いつもしあわせを歌うことを知っているのです。物をみても、その物を、美しい方へとって表現するのです。そうです。彼女は詩人なのです。

詩人はシェウの中でも美を発見するのです。いやシェウ

の中に美を発見してこそ詩人なのです。

容色のおとろえた、かつての美人のウワサをするにしても彼女は

「あの人、バアちゃんになってこのごろ駄目よ」

なんていうかわりに

「あの方、なんていうんでしょう。サビタ美しさなんです。美人でないとあんな美しさは出ないものね。」

なのです。

これも、私は、この話のはじめに申しましたバランスの見事さでありまして、この伝でまいますと、こうした会話の内容はバランス・スピーキングとでもいえばよいのでしょうか。

そうです。彼女の服装のことにもふれないといけませんね。

彼女は、いつもそのときどきに、着ているものを相手に印象させない術をもっております。いつも相手に、そら、きょうは彼女は赤だ。青だ。綿だ。レースだ。なんて印象させるのはヤボというものでしょう。そうかといって、いつも、こころよいイメージを残しているのですから、羨ましくなってしまうです。

一度、彼女に、そのテクニクをきいてみましたら、彼女はこう申しました。

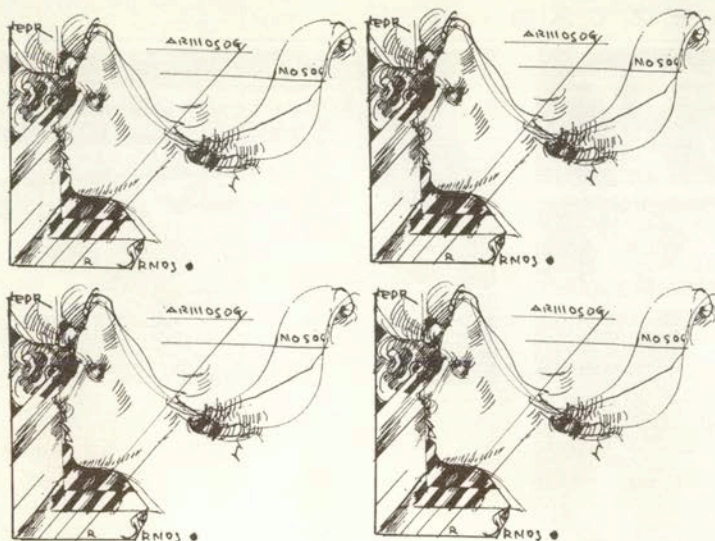
「色と匂いと形は同じことよ。相手につかませてはおしまいね」

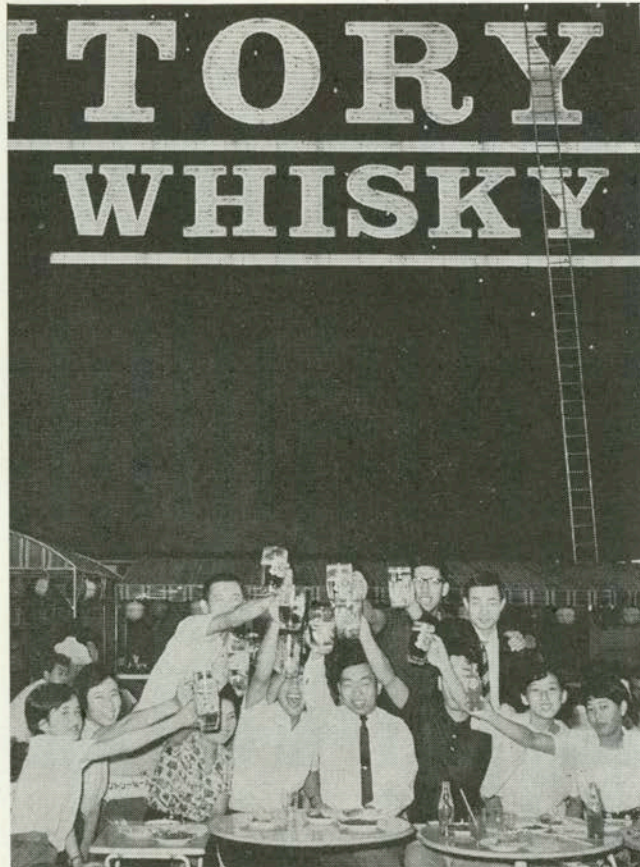
彼女のテクニクからゆきますと、自分の香水の正体をシャネルNo5と口ばししてしまったモンローさんは、淑女でなかったようですね。

「彼女って誰？ 一体」

「申しましょうか。私の空想の女性よ」

△次号は名村喜久江さんです▽





バー・ラウンジ

ギラギラと照りつける真夏の太陽。連日 30° をこえる暑さにはうんざり。一日の仕事も終った。会社の帰りに同僚たちと、スカイサントリー・ビヤガーデンに行く。

——さあ、みんなそろったところで、サントリービールでスコール! '神戸の夏にふさわしいシャレた味だ! '一日の疲れもさっぱりと回復し、気分は爽快だ。中ジョッキー2、3杯なら平気! という女性メンバーもいて、僕たち若い仲間、たのもしい限り。意気のあったチーム・ワークのよさと元気はつらつとしたフレッシュな雰囲気。これが、僕たち技術科の特長だ。パーム・アイランダーズの奏でる甘いハワイアンムードも上々。すばらしい神戸の夜景をながめながら、下界の騒々しさを忘れた、夏の夜のひとときだった。サア! サントリービールでリフレッシュ!

<兵庫富士カラー現像所KK技術科 七條義典>

飲みほうだい<サントリービール>+食べほうだい! <北欧風ヴァイキング料理> 1,000円<飲食税 100円別>



なごやかな
ムード
すばらしい
眺望!

ビヤレストラン 三宮交通センタービル9階 TEL ㉟ 3705~6
スカイサントリー



おめでとう コラーサ号 鹿島さん!

★波濤二万五千キロ
太平洋・太西洋
横断成功



☆コラーサ二世号ふるさと神戸へ
帰るノ
小さな一本マストのコラーサ二世号がついに横浜大根橋へ到着した。七月十三日。大西洋・太平洋横断の壮挙を見事神戸つ子ヨットマン鹿島郁夫さん(三七)はなしとげた。

同じころ七月集中豪雨に見舞われた神戸の街は、暗いニュースが新聞紙上を賑わすなかに、鹿島さんの黒潮への海の男の根性をみせた挑戦ふりとその成功は、神戸市民に明かるとその力強い励みを与え、惜しみない拍手が送られた。七月二十一日に中突堤へ入港。ふるさと神戸へご帰還だ。七月二十二日と二十七日までそこで、鹿島さんの「太平洋横断の記録コラーサ号展」が開かれた。

東京高島屋で先に公開されかけようとしたときに「神戸での初公開」の約束があったので、「黒潮丸」の永田敏明さん(三七)の「海から神戸に手を振りながら入港する夢」が、そのタツクル力を押しとどめたようである。

ヨット仲間の麻生ジョージ氏は「不撓不屈の精神の一言につきますネ。彼は生まれつきの冒険家ですが、冒険に対しての執拗なまでの綿密な計算と、周囲の友人の盛りたて、奥さんの協力など善意のつながりと支えがあってこそ成功だと思っています。彼は出航に際してこれだけは必要だというギリギリの設備は整えて、机上プランを実行してみせました。そして人間として安定感のある試合運びでした。また最後のコースで、成功したという時点で引航されたのも、良識ある社会人としてたえられまます。神戸のなから、世界にまで海の広がりや連がりを見せてくれた鹿島君の成功は何よりも嬉しい」と言っている。神戸開港百年に、この輝やかない壮挙は、神戸っ子のバイタリティを示すものとして後世にのこる記録になるだろう。

Glamour



グラムール

新谷悦子
柴田千鶴子

生田筋・岸ビル地階

TEL 33-4637



OCB 加盟店

年中無休

坂上 太佳子

神戸市生田区中山手通1丁目110

PHONE <33> 5543・7831